



勝興寺を地域に活かす

—「勝興寺とまちづくり座談会」とその後—

開催レポート

20年余りにわたる平成の大修理が完工に近づき、平成30(2018)年8月には本坊の一部も公開された重要文化財「勝興寺」。同年3月に開催された「勝興寺とまちづくり座談会」では、この勝興寺を地元伏木や地域の宝として活かしていくにはどうすればよいかについて、地域みなさんと様々な意見交換をしました※。その後、6月には具体的なアイデアを出し合う有志によるワークショップを開催。そこで出たアイデアから生まれたのが10月に開催した「ふるこはんフェス」です。

この冊子では、座談会のその後、どのように「ふるこはんフェス」開催にまで至ったか、また、大盛況となった開催当日の様子をレポートします。これからの伏木地区を中心とするまちづくりの参考となれば幸いです。

※「勝興寺とまちづくり座談会」の様子は、別途発行している開催レポートをご参照ください。



高岡市の海沿いに位置するまち伏木古国府(ふしきふるこくふ)に建つ、浄土真宗本願寺派の勝興寺(しょうこうじ)。真宗王国・越中における代表的な寺院であり、本願寺を支える連枝寺院の一つとして重要なはたらきをしてきました。また、本堂をはじめ12棟もの建造物が国の重要文化財に指定されているなど、多くの文化財を有することでも知られています。平成10(1998)年からは「平成の大修理」と称した大規模な保存修理事業に着手。平成30(2018)年8月には、修理完成した本坊(お寺の住宅系の建物群)の一部公開がはじまっています。

勝興寺を地域のために活かす

ワークショップ

平成30(2018)年3月10日に開催した「勝興寺とまちづくり座談会」での意見を踏まえ、勝興寺の本坊一部公開がこの夏から始まることを好機として試験的なイベント等を開催することをめざし、地域住民が主体となって様々なアイデアを出し合いました。

平成30(2018)年6月24日(日) 勝興寺 本堂



01 まず、6~7人のグループに分かれ、地域の「課題」と「強み」を改めて掘り起こします。

02 その後、グループ毎に発表し、参加者全員で共有しました。



03 次に、これらの「課題」を解決したり、「強み」を生かせるようなイベント等のアイデアを出し合います。



04 グループで話し合ったアイデアをそれぞれ発表。内容が具体的になり、イメージが湧いてきます。



05 最後に、似ているアイデアをまとめたり、実現できるかどうかのディスカッションを重ね、この日の案として決定。
10月開催をめざして、スケジュールや役割分担について話し合い、何回かの準備会議の必要性を確認し、それぞれができることから動き始めます。

イベントアイデアの一例

「音楽コンサート」/「かっこいい縁日」(子供対象)/「マルシェ」/「写経」/「念珠づくり」/「デスクフェ」(死について気軽に語り合い生を見つめ直す場)/「フリーマーケット(門前市)」/「スタンブラリー」(伏木名所、吉久名所)/「伏木ディープツアー」/「落語」「手品」(高座はもともと仏教からエンターテイメントとして派生した)/「坊さんカフェ」/「NightLife 勝興寺にお泊まり」/「PUB」(お坊さんBar)/「ご示談」(仏事に関するディスカッション)/「万葉集 朗唱の会 サテライト会場」/「報恩講体験」

準備委員会

ワークショップで出たイベントのアイデアを実行にうつすため、具体的なスケジュールやイベント内容、役割分担などを決める準備委員会を発足。計3回の会議を行いました。



第1回 7/23(月)@伏木コミュニティセンター

この日はイベント名称の検討、本堂内のプログラム、境内でのマルシェ、音楽コンサートの具体的な内容について話し合い、開催日を10月6日に決定しました。

第2回 8/21(火)@伏木コミュニティセンター

ついにイベント名称が「ふるこはんフェス」に決定(勝興寺がある地名の古国府に由来し、地元住民から「ふるこはん」と呼ばれ親しまれていることから)。本堂でのプログラムや出演者もほぼ確定し、チラシの作成や準備物の手配などよいよ実施に向けて動きが加速していきます。

第3回 9/14(金) @勝興寺文化財保存・活用事業団 事務所

「ふるこはんフェス」は夜まで開催するため、実際にどれくらいの暗さになるかを確認するため暗い時間に集合しました。チラシが刷り上がり、この日から開催告知が本格的にスタート。本番までやるべきことを確認しました。



開催日 平成30(2018)年10月6日(土)
時間 12:00~21:00
会場 伏木 雲龍山勝興寺



当日のスケジュール

12:00

[@境内地] ~21:00
・フード&クラフトマーケット

13:00

[@本堂] ~16:00
・オープニング
・DJタイム ・坊主Café

[@本坊] ~17:00

・見学ツアー 12:00~/14:00~/16:00~

17:00 - 21:00

[@本堂]

・音楽法要
・コンサート
・坊主Bar

[@本坊]

・見学ナイトツアー 19:00~



坊主Café&Bar

僧侶とのおしゃべりや、雅楽の演奏を気軽に楽しめるカフェ。本堂の外縁という特別な空間ということもあり、多くの人で賑わいました。



勝興寺見学ツアー

勝興寺文化財保存・活用事業団、観光ボランティアガイド「比奈の会」の勝興寺見学ツアー。各回とも定員を上回るほどの人気となりました。





[ROTH BART BARON]



音楽法要

富山県内の浄土真宗本願寺派若手僧侶総勢30名による声明(しょうみょう)と雅楽+シンセサイザー演奏による勤行(おつとめ)体験。ふだん仏教に親しむことの少ない参加者も加わり、全員の声が響く本堂は荘厳な雰囲気につつまれました。クライマックスには、今回特別に用意した手作りの華葩(けは)を散華。また、法要の最後には、僧侶の着ている法衣の解説も行われ、法要や僧侶について多くの人に親しんでもらう機会となりました。



[Robin's Egg Blue]



CONCERT

フォークロックバンド「Robin's Egg Blue」「ROTH BART BARON」による、本堂でのコンサート。

第1回目の開催となった「ふるこはんフェス」。座談会やワークショップに参加してくれた人。準備や出店、出演者として関わってくれた人。当日、家族や友達と一緒に来てくれた人。参加できなかったけど、この冊子を見てくれている人…。関わり方はいろいろですが、勝興寺が今もここに存在し、歴史や文化を伝える「財(たからもの)」としてあり続けているからこそ、私たちはこのご縁をいただくことができました。たった1日だけのイベントでしたが、そこに至るまでの過程を含めて、実に多くの素晴らしい出会いが生まれました。

勝興寺のような浄土真宗系のお寺は本来、開かれた場所です。そこで人々は、時に集い、学んだり気づきを得たり、他者や自分と出会ってきました。しかし、宗教と社会との関係が変化中、お寺と街や人との関係も変化しています。わたしたちは「ふるこはんフェス」を単なるイベントとせず、人々の出会いや交流の場になること、仏教伝道の道場としての機能も付加することを心がけました。

法要の際に多くの地元の方達が駆けつけ、お経を唱和する様子は実に誇らしげで、地域にとっての「われらがふるこはん」が健在であることがわかりました。そしてそこに、今回初めて勝興寺に来られた方たちも加わって、熱気溢れる勝興寺の境内を眺めながら、お寺の活性化が地域の活性につながる新たな可能性を感じました。

さて、「ふるこはんフェス」も、第2回目の開催に向けて動き出しています。地元の方たち、行政、僧侶、大学生、さらに多様な方たちを巻き込みながら、「地域での開かれたお寺のあり方」を探り、実践していきたいと思います。

ふるこはんフェス DAY&NIGHT

主催：高岡市歴史文化推進協議会

共催：高岡市/高岡市教育委員会/アート&クラフトシティ高岡推進委員会/
近世高岡の文化遺産を愛する会

企画運営：ふるこはんフェス運営委員会/(有)エビファニーワークス

協力：浄土真宗本願寺派高岡教区 子ども・若者ご縁づくり推進委員会/
寺族青年会 鷺翔会

Food&Workshop：坊主Cafe&Bar「LOTUS」/漆器くにもと/大寺幸八郎商店/
Green Owls/murojiuroji/大越仏壇/蜂の巣 あうん/こりほぐし処 にこにこ屋/
schwa/くりこども/ハンドメイドサロン fleur/恥ずかしがり屋/ひみつカレー/
Latticework BREWING/おべんとうカフェ にじのこや/富山胡椒餅製造所/
HoLo家/からあげ専門店 鶏よし

Opening：高岡市立伏木中学校吹奏楽部&選抜合唱団ふっしーず

Music：河上朋弘/雪山俊隆/Robin's Egg Blue/ROTH BART BARON

お問い合わせ

高岡市歴史文化推進協議会事務局(高岡市教育委員会生涯学習・文化財課内)

TEL:0766-20-1453